

発 言 通 告 書

発言者氏名	大村洋子
発言の会議	平成30年 9月19日 本会議
発言の種類	質 疑、 <u>一般質問</u> 、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、 <u>一問一答</u>
答弁を求める者	市 長、教育長

【件名及び発言の要旨】

- 1 「音楽・スポーツ・エンターテイメント都市」「ワクワクする横須賀」を実現するために今回開催された「Pokémon GO Safari Zone in YOKOSUKA」を徹底的に真剣に総括することについて

「Pokémon GO Safari Zone in YOKOSUKA」が8月29日から9月2日の朝10時から夜8時までの計50時間、場所は三笠公園、ヴェルニー公園、くりはま花の国で行われた。位置情報ゲームとして実際の場所に多くの人々が集まる「Pokémon GO」は自治体の協力なくしては絶対に成立しないという性格もはらんでいるがゆえに、どの自治体も「Pokémon GO」の舞台になりたいのはやまやまだ。しかし、当然、受け入れる自治体にはさまざまなリスクが伴う。今回のイベント開催で本市はよい意味でも悪い意味でも多くの教訓を得た。これらの経験は「音楽・スポーツ・エンターテイメント都市」を標榜し推進する上で必ず役に立つものとの思いから市長に質問する。

- (1) 今回のイベントを振り返り市長の感想を伺う。
- (2) 今回の「Pokémon GO Safari Zone in YOKOSUKA」の舞台に本市が選ばれたのはどのような背景だったのか。実現した経緯を伺う。
- (3) 主催となり事前応募抽選制度をとり行ったのが「Pokémon GO」

の開発・運営を行っているナイアンティック・インクや株式会社ポケモンではなく、本市も入っている集客促進実行委員会だったのはなぜか。

- (4) ネットオークションサイトにおいて、なり済まし応募による当選アカウントが高額で不正転売されたことに対する市長の所見を伺う。
- (5) さらに不正転売を知った人物が「民間の営利目的じゃない、税金で物事している横須賀市が事前応募抽選で申込者が複数アカウントで重複応募出来ることが解っていながら、容認し採用したこと自体が問題だと思うよ。転売屋に肩を貸すことになっているものね。」とネット上で発言している。これらの発言や罵詈雑言なども含め、本市のイメージダウンをかなり助長するものとして広がっているが、市長のお考えを伺う。
- (6) 開催5日間の交通渋滞について市長の認識を伺う。
- (7) 移動基地局が出動していたが、通信障害の有無について市長の認識を伺う。
- (8) 「Pokémon GO Safari Zone in YOKOSUKA」を行うに当たり、本市の持ち出しの有無と金額、市長の所見を伺う。
- (9) 当選アカウントの数は1日2万人、5日間で合計10万人のところ、実際には5日間で6万5千アカウントの人々の参加しなかったようで、3万5千人は当選していながら、参加しなかったということになる。この点について市長の所見を伺う。
- (10) イベント期間中に参加した6万5千人で市内の宿泊施設がほぼ満室の状況とのことで、当選した10万人が参加していた場合には、多くの方々が宿泊できなかったといえる。宿泊施設が取れないから、参加できなかったと考えることもできるが、この点についての市長の認識を伺う。
- (11) 今回の「Pokémon GO Safari Zone in YOKOSUKA」を見る中で、私は「官」と「民」の役割、すみ分けの難しさをかいま見た気がしたが、市長の認識を伺う。また、この経験は今後の「ワクワクする横須賀」にどのように生きると市長はお考えか。

2 横須賀を本当の意味での「平和の発信基地」にすることについて

市長は横須賀を「ワクワクするまち」にしたいとおっしゃるが、私は横須賀を「平和の発信基地」にしたいと思う。ここでの基地とは、言わずもがな、軍隊の駐留場所ではなく、活動の拠点という意味を指す。

- (1) 私は1950年にスタートした旧軍港市転換法（以下、軍転法）の精神は基本計画に「可能な限りの米軍基地の返還、自衛隊施設の集約・統合」とうたわせたと捉えている。軍転法と基本計画にうたわれた内容の関係性について、市長はどのように受けとめているか。
- (2) 軍転法から68年、本市は平和産業港湾都市として発展しているかと言えば、残念ながら決してそうとは言えない。昨今の基地関連施設の拡張を見るにつけ基本計画にうたわれている「可能な限りの米軍基地の返還、自衛隊施設の集約・統合」は形骸化されていると思われるが、市長のお考えを伺う。
- (3) 「核兵器廃絶平和都市宣言」のオブジェである「平和のモニュメント」は高台にそびえ、雨の日も風の日も横須賀の町並みを俯瞰し、市民の安寧を見守り続けている。私たち横須賀市民はいま一度、核兵器廃絶の思いをしっかりと受け継ぎ、平和の決意を固めることが必要と思うが、市長のお考えを伺う。
- (4) 前定例議会で、被爆者の方々が市長にお会いしたいとおっしゃった場合、会っていただけますかとお尋ねしたところ、「ぜひ、会いしたい」と力強い答弁をいただき、実際にその機会を設けていただいた。面会された5名の被爆者の方々は喜んでいらっしまった。市長はどのような感想をお持ちになったのか。心模様を御披露願う。
- (5) 私は核兵器廃絶の問題は政治やイデオロギーではなく、どこまでも人道主義と平和的生存権に根差して、人間の根源的問題として捉えることが大切と受けとめている。市長のお考えを伺う。
- (6) 横須賀は軍事遺産、戦争遺跡が豊富にあることから平和教育のための生きた教材として市内外の人々へ大きな貢献ができる要素を持っている。今後ルートミュージアムを展開する上で、

平和教育の観点は必須のコンセプトだ。市長のお考えを伺う。
また、子どもたちへの平和教育という観点から教育長にも伺う。

3 2021 年稼働を目指す中学校完全給食をよりよいものにする ことについて

先般、中学校での給食実施率が上がると男子生徒の肥満が一定の割合で減少するという、大変興味深い報道があった。また、「朝御飯を食べていない」「お弁当の時間に教室から消える」「夏休みが終わると痩せている」「夕食も御飯にふりかけのみ」という子どもがいることが紹介されている論文なども目にする。

- (1) 完全給食と貧困、栄養、健康、さらに言えば医療費の削減、これらとの関連について市長、教育長の所見を伺う。
- (2) 過日行われた中学校完全給食推進連絡協議会では中学校給食が始まるに際し、食器についての議論となった。材質については小学校と同じポリエチレンナフタレート樹脂製とのことだが、このPEN食器の人体への影響、安全性は大丈夫か、教育長の所見を伺う。
- (3) 昨今、全世界的に脱プラスチックストローの流れが加速しているが、この際、PEN食器ではなく磁器製の食器という選択肢も一考すべきではないか。教育長の所見を伺う。
- (4) 全国の給食食器には絵柄つきのものがたくさんある。本市も文部科学大臣賞全国第1位を2年連続3回受賞している総合高校美術部の皆さんに中学校完全給食の食器に施すイラストやメッセージを考えていただくというのはどうか。横須賀で育ち行くことに一体感や喜びが持てる、そのようなすてきな食器になるとよいと思う。市長、教育長のお考えを伺う。

4 軽視は許されない米海軍基地内における大麻問題について

米海軍基地内で18歳の米国籍の大学生が男子高校生5人に大麻を譲り渡したとして大麻取締法違反で書類送検され、その後、家裁送致された。この18歳の大学生は「10人くらいの高校生に大麻を販売したことがある」「大麻は知人から購入した。自分が大麻を吸

っていることはみんなが知っている。」とも話していたという。繰り返される米軍人、軍属、家族も含めてのドラッグ問題。一体米海軍基地内はどうなっているのかと不信感が募るばかりだ。

- (1) 今回の大麻問題について市長の認識を伺う。
- (2) 書類送検が8月1日で、この一件がメディアに流れたのが8月8日。ささいなことでも本市に情報を寄せてくれるよき隣人は、果たして約束を履行していると言えるのか。書類送検後1週間も経てから、新聞報道でこの一件を知ったと聞いているが、市長はどのように受けとめ、認識されているのか。
- (3) 米海軍基地内のキニックハイスクールへ総合高校の生徒を今までどおり短期留学させることは賢明と言えるのか。私は少なくともこの短期交換留学を一時停止するべきと考える。教育長はいかがお考えか。あわせて市長にも所見を伺う。